

## 課題検討部会報告

## 地域における障害者等の居場所についての情報交換会

## 1. 目的

障害者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていくためには、日ごろ感じている課題等について、誰にも相談することなくあきらめてしまうことのないよう、支援者が状況に応じてニーズを把握し、共に解決に向かうことが重要である。

障害のある人もない人も「共に生き、互いを尊重し、応援し合える社会」のさらなる推進に向け、「地域で目配り、気配りができる体制づくり」に取り組み、障害のある人もない人も誰もが安心して暮らし、働くことができる地域社会を目指す。

## 2. これまでの経緯

## ◆三田市地域自立支援協議会「課題検討部会」による取り組み

課題検討部会では、令和4年度に当事者と支援者が一同に会し、「地域で自立して暮らすには、どんな物(事柄)があれば安心か」をテーマに座談会を開催し、次の項目について重要性を確認しました。

- ①障害者の日常生活での課題をいかに相談に繋いでいくか
- ②親なき後を見据えた家族以外の人との関係作り
- ③当事者が社会とゆるくつながれる“居場所”の必要性

## 3. 地域における障害者等の居場所についての情報交換会の実施

今年度は事務局会議を重ねていく中で、当事者同士が集まる場（居場所）や、保護者が悩みを共有し合う場（親の会）を運営されている方々から、活動を継続していく上での工夫や課題などについて、意見を聴取することが大切ではないかとの結論に至り、継続的な課題の解決に向けた取り組みに繋げるため、情報交換会を実施しました。

## 【参加メンバー】

三田市手をつなぐ育成会、実なる、はじまりの街、ゆるり、アイクロッソ、場とつながりの研究センター、ピアサロン（障害者生活支援センター）、シャベリバ（障害者就業支援センター）、基幹相談支援センター、精神障害者支援センター

開催日	内 容	参加人数
令和5年 11月29日(水)	・地域で行われている“居場所”の活動紹介 及び情報交換	13人
≪主な意見≫ ・本人や家族にとっては、相談機関に出向くよりも抵抗感が少なく、居場所スタッフの方が気軽に相談ができる ・自分の特技や趣味が活かされることで、いきがいや社会参加意欲が高まり、自己実現につながる ・NPO等の多様な主体が開設しており、継続性のある運営に向けて社会的信用を得ることが重要		

開催日	内 容	参加人数
令和6年 2月8日（木）	・それぞれの居場所が抱えている課題	13人
<p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所での出会いからふれあいが増えていき、顔が見える関係から地域へとつながる</li> <li>・いろいろな人とつながり、交流することで孤独感の解消につながる</li> <li>・居場所に来ることが出来ない当事者に、今後どの様につながる事が出来るか</li> <li>・現在の活動を継続していきたいが、どのように次世代に繋いでいくか（想いの継承）</li> <li>・参加者とスタッフが付かず離れずの距離感を保つことが、心地よい居場所にするために大切となる。</li> </ul>		

#### 【まとめ】

- ・当事者を地域の居場所につなげるためには、住んでいる地域に相談やふれあえる場があることを知ってもらう（認知度を高める）ことが第一歩となる。
- ・地域で活動する様々な居場所同士の連携を密にし、地域との関わりを深めるほか、地域資源、行政の企画を活用することなどが重要。
- ・居場所機能を発揮していくためには、新たに立ち上げるだけでなく、地域に根付き継続していく中で様々な関係機関につながり、手を取り合いながら個々の状況に応じたサポートを行うことが重要。

#### 4. 今後の取り組み

各居場所の活動内容を話し合い、継続した活動を行うために心掛けていることやそれぞれが抱える課題等について認識を深めました。

その中で、「居場所の活動内容が地域全体に広がっていない」ことや「それぞれの活動の連携を図り支援につなげる必要性」について、共通課題を抱えていることが分かりました。

今後、身近な地域の居場所の大切さを伝えるため、地域情報共有アプリ「ためまっぴさんだ<sup>※1</sup>」や、きいてネットのインスタグラムのハイライト<sup>※2</sup>を活用し、各居場所の意向を踏まえながら活動等についての周知・啓発を行います。

また、市や関係機関による各種イベントや催し等での機会を通じて、居場所の活動紹介や居場所同士での横断的な連携を図ることにより、当事者やその家族等が生き生きと過ごせる場や、地域の人と交流できる機会・場の充実につながる取り組みを進めて参ります。

※1 市内の地域で行われているイベントや催し、地域の魅力・情報などを発信する情報共有ツール

※2 プロフィールをいつでも閲覧できる機能